

2021年度 発達支援つむぎ 駒沢ルーム 職員アンケート改善策報告

いつも発達支援つむぎをご利用いただき、ありがとうございます。職員アンケートの結果および改善策の報告をいたします。
 今後も支援の質向上に努めてまいりますので、お気づきの点などございましたら、施設長または職員にお気軽にお知らせください。

		質問内容	平均スコア	改善策・ご意見への対応について
体制設備・環境について	Q2	入口や指導室、カフェ、トイレなど、ルーム内は清潔、整理整頓され、お父さまが活動するにあたり安全な環境であるか。	4.00	新型コロナウイルスの対策では、1日2回の消毒、常時換気を徹底しております。今後も職員全員が気持ちよく働くことが出来る環境を目指し、常に改善点はないか意識しながら環境整備に努めてまいります。
	Q3	職員の配置数、職員の専門性は適切であるか。	2.57	職員の退職や欠勤等で職員が抜けてしまうこともあり、忙しい時もありますが、支援の質が下がることはないよう努めると共に、配置数も増やせるよう頑張っております。
	Q4	業務中の休憩および休暇は適切に取れているか。	4.43	今後も休暇申請がしやすい環境作りに努めていき、職員間での役割分担などを明確化していくことで、ひとりひとりの休憩を確保できるよう努めてまいります。
	Q5	ルーム内の環境や指導員の人員体制について、ご意見をお聞かせください。		職員の退職や休職に伴い職員数が充実している環境ではありませんが、支援の知識や技術の向上に努めてまいります。
業務改善について	Q6	業務改善を進めるためのPDCAサイクルに、広く職員が参加しているか。	3.57	つむぎ職員間での情報共有のほか、併設の保育園職員との情報共有も今後強化してまいります。
	Q7	保護者にアンケート調査等を行い、保護者の意向や意見を把握し、業務改善につなげているか。	4.43	利用者アンケートでは、毎回貴重なご意見を頂戴しております。いただいたご意見に対しては職員間で話し合いを行い、しっかりと改善してまいります。
	Q8	この自己評価表の結果を事業所内掲示やホームページなどで公開しているか。	3.29	ルーム内に掲示のほか、ホームページで公開しております。
	Q9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4.14	年に1回、世田谷区による巡回訪問を受けております。助言をいただいた点については改善に努めてまいります。
	Q10	職員の資質、療育スキル向上のため研修の機会を確保しているか。	3.43	法人では、子育てスキル講座をはじめ様々な研修機会が用意されています。職員は各自の興味関心や課題に応じた学び計画を立てており、こういった研修へのまいり加をはじめ、その他自主的にもますますの研鑽に努めてまいります。
	Q11	業務改善について、ご意見をお聞かせください。		業務について気づいた事がある場合、その都度報告し迅速に改善するよう努めています。
適切な支援の提供について	Q12	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか。	3.57	法人全体で共通したアセスメントツールを使用しております。
	Q13	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で個別支援計画を作成しているか。	4.14	アセスメント後、策定会議を行った上で個別支援計画を作成しています。
	Q14	グループ指導や個別指導のプログラムは、支援目標に沿ったものになっているか。	4.43	グループ、個別ともに6か月ごとに支援目標を立てておりますが、お子さまの成長の具合に合わせて柔軟に変更したり、成長をとらえやすくするため、さらに短期間でのスモールステップの目標設定も加えるなど努めてまいります。
	Q15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4.57	自然体験を多く取り入れいと共に、今後も大人が決めたプログラムではなく、「お子さまがやりたいこと」を大切に指導を行ってまいります。
	Q16	プログラム開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる内容や役割分担について確認しているか。	4.43	朝礼で必ずその日のプログラム、お子さまの目標を共有しております。今後もお子さまの「やりたいこと」に対して臨機応変に対応できるよう職員間での連携を深めてまいります。
	Q17	支援終了後には、職員間で必ず支援の振り返りを行い、気づいた点などを共有しているか。	4.86	毎日、職員間で支援の振り返りを行っております。また、今後はケース会議の回数も増やし、より良い支援が行っているよう努めてまいります。
	Q18	日々の支援内容を正しく記録し、支援の検証・改善につなげているか。	4.57	支援内容や保護者様とお話した内容は正しく記録し、その後の支援へとつなげていけるよう今後も努めてまいります。
	Q19	定期的にモニタリングを行い、個別支援計画の見直しの必要性を判断し、適用期間内に次期個別支援計画の説明ができていますか。	4.57	半年に一度モニタリングを行い、見直しを実施していると共に、必要に応じて適宜見直ししております。今後もよりお子さまに合った支援計画を作成できるよう努めてまいります。
	Q20	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか。（自立支援と日常生活の充実のための活動、創作活動、地域交流の機会の提供、余暇の提供など）	3.86	児童発達支援ガイドラインに従い、活動を複数組み合わせさせて支援を行うよう今後も努めてまいります。
	Q21	適切な指導の提供について、ご意見をお聞かせください。		
保護者と関係機関について	Q22	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	4.43	指導の振り返りの時間に、丁寧に保護者様と共有するよう努めております。
	Q23	所属の幼稚園や保育園等と連携し、相互理解や支援のアドバイス等に努めているか。	2.57	今年度は新型コロナウイルスの影響もあり、園連携を図ることが難しい状況となりました。今後状況が落ち着き次第、保護者様へ関係機関連携加算の制度を説明し、所属園との連携を提案してまいります。
	Q24	児童発達支援事業所同士で連携をとり、情報共有、相互理解に努めているか。	2.86	就学先や放課後の過ごしに悩む保護者様の為にも、地域の放課後等デイサービスとの情報を集めていきたいと思っております。
	Q25	児童発達支援事業所から放課後等デイサービス事業所へ移行する場合、それまでの支援内容などの情報を提供するなどしているか。	2.86	地域の児童発達支援センターや児童発達支援事業所と連携し、情報共有をしております。

保護者との係連携について	Q26	児童発達支援センターや発達障害者支援センターなどの専門機関と連携し、助言や研修を受けているか。	2.71	地域の児童発達支援センターや児童発達支援事業所と連携し、情報共有をしております。
	Q27	地域自立支援協議会や社会福祉協議会など、地域連携を図るような会議に積極的に参加しているか。	2.86	児童発達支援事業だけに限らず近隣の事業所やお店等とも積極的に関わりを持っていくよう取り組んでいます。
	Q28	障害のない子どもと活動する機会を設けているか。	4.29	今後も駒沢どころこ保育園さんとの連携を深めてまいります。
	Q29	事業所の行事に地域住民を招待するなど、地域に開かれた事業運営を行っているか。	3.00	地域にむけてのイベントは実施出来ておりません。今後の課題として取り組んでいます。
	Q30	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニングなどの支援を行っているか。	2.86	現在は、振り返りの時間などで、お子さまとの関わり方を相談させていただくことが主ですが、今後は、研修等ペアレントプログラムの開催についても検討いたします。
	Q31	関係機関や保護者との連携について、ご意見をお聞かせください。		
保護者やお子さまへの対応などについて	Q32	契約、支援の内容、利用者負担などについて丁寧な説明を行っているか。	4.14	安心してご利用頂けるよう、契約時には分かりやすく説明するよう心がけております。利用開始後でも、ご不明な事があればいつでもお訊ね下さればご説明させていただきます。
	Q33	保護者からの子育ての悩みなどに対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	3.14	通常は振り返りの時間に保護者様からのご相談にも応じておりますが、まとまった時間での相談を希望される場合、「相談支援加算」という制度を利用し、30分程度の面談をすることができます。ご希望の場合はご相談ください。
	Q34	保護者同士が集まれる場の提供など、保護者同士の連携につながる支援を行っているか。	4.14	今年度はコロナウィルスの影響により、開催することが難しい状況となりました。限られた環境の中でも実施出来るよう、職員間で方法を話し合っていきたいと思っております。来年度の保護者会スケジュールも早めにお知らせさせていただきます。
	Q35	お子さまや保護者様からの苦情があった場合、迅速かつ適切に対応しているか。	4.29	苦情を受け取ってはいませんが、質問などがありましたら上長に報告をし迅速かつ適切に今後に対応を行っていきます。
	Q36	掲示物やホームページなどで、活動内容やイベント開催告知など、お子さまや保護者様に対して情報を発信できているか。	4.29	告知に関しては主に配布文書で行っています。また告知に関してご不明な点があればいつでもお気軽にお声がけください。
	Q37	障害のある子どもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮をしているか。(例：分かりやすい言葉がけをしているか、専門用語を使い過ぎないかなど)	4.14	今後も日々の対応を振り返りながら、誰にでも伝わりやすい意思疎通ができるよう努めてまいります。
	Q38	個人情報の取扱に十分注意しているか。	4.14	意識はしておりますが、今後もお互いに注意し合い気を付けていきます。
	Q39	職員同士の連携や情報共有は適切に行われているか。	4.14	毎日朝礼、終礼にて情報共有を行っております。休み明けの職員にも情報共有が徹底されるよう、業務日報への記載もしっかりと行い、確認を努めてまいります。
	Q40	保護者やお子さまへの対応などについて、ご意見をお聞かせください。		
非常時の対応について	Q41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを、把握できているか。	3.57	法人共通の各種マニュアルがございます。職員間で定期的に読み合わせやロールプレイを行うなど、いざという時に適切な対応ができるよう努めてまいります。
	Q42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練を行っているか。	4.43	毎月避難訓練を行っています。今後も万が一に備え災害だけでなく、人命救助などの研修会にも参加し備えていきます。
	Q43	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保するなど、適切な対応をしているか。	3.57	今後研修等にまいり加わっていき、職員間で意識を高めてまいります。
	Q44	ヒヤリハット事例集を作成して、事業所内で共有しているか。	4.71	日々、様々な場面に隠れた小さなヒヤリハットを事前に見つけ、その都度職員間で対策を話し合っております。今後も安全にお子さまが活動できるよう、職員の意識を高めてまいります。
	Q45	非常時の対応について、ご意見をお聞かせください。		
満足度について	Q46	利用児はつむぎに楽しく通っていると思うか。	4.71	利用者アンケートの中でも多くの楽しく通っているという意見をいただきました。今後も楽しく通えるよう支援を考えていくとともに、職員もお子さまと一緒に楽しんで支援を行っていきます。
	Q47	つむぎの支援を通じて、利用児の変化や成長を実感することがあるか。	4.43	「先生たちがポジティブで元気をもらえる」など、素敵なご意見を多数頂戴致しました。今後も職員一同お子さまと同じ目線に立ち、「楽しい」「やってみよう」という気持ちを大切に、日々指導させていただきます。
	Q48	設問事項に関わらず、ご意見・改善点などなんでもお聞かせください。		

アンケート実施期間：2021年8月13日～9月5日
全回答数：7

発達支援つむぎ 駒沢ルーム